

みはま

No.23

議会 だより

福井県美浜町議会

9月定例会	2~4
各委員会の報告	5~6
全員協議会	6~7
現地視察・第4回臨時議会	7
一般質問	8~9
視察・研修報告	10
議会と語ろう会	11
消防操法大会・レガッタ・編集後記	12

9月定例会

9月1日～9月17日

9月定例会が、1日から17日までの17日間開催されました。平成26年度一般会計決算と特別会計決算及び、9月補正予算と追加15案件の合計36案件が上程され、全案件が可決されました。



産業団地安全祈願祭(写真1)



住宅団地の整備状況(写真2)



点検予定の橋(写真3)



げんげん運動

平成26年度一般会計決算では、平成25年度と比べると歳入歳出で16.6%の減となりました。9月補正予算では、約2億7000万円が追加され、総額92億1000万円となりました。今回は、ふるさと創造プロジェクト事業や、がんばる美浜人応援事業など地方創生に向けての取組に予算がつかまりました。

平成 27 年度 一般会計 9 月補正予算概要

予算規模	補正予算額	2 億 6,939 万円	補正後予算総額	92 億 1,095 万円
(参考) 前年同期	補正予算額	1 億 8,500 万円	補正後予算総額	68 億 6,622 千円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

款	主 要 事 項	金 額	事 業 概 要 等
総 務 費	ふるさと創造プロジェクト事業	337 万円	計画策定業務委託料、ふるさと創造プロジェクト事業補助 他
	がんばる美浜人 ^{みはまびと} 応援事業	206 万円	町の活性化に繋がる地域活動を行う団体等に対し、町が支援することにより協働のまちづくりを推進する
民 生 費	介護保険事業特別会計繰出金	311 万円	介護保険事業特別会計への繰出金
衛 生 費	健康みはま 21 推進強化事業	103 万円	町民の健康実態調査業務委託料
農 林 水 産 業 費	中山間地域農業総合対策支援事業	1,584 万円	有害獣侵入防止柵に係る測量・設計業務委託料、設置工事費(雲谷地区)
	県単小規模土地改良事業	1,250 万円	太田地区ため池立入防止柵改修工事、坂尻地区集落内水路整備工事 他
	県単小規模荒廃地治山事業	520 万円	佐柿区内治山工事
商 工 費	産業団地事業特別会計繰出金 (写真1)	1,246 万円	産業団地事業特別会計への繰出金
	元気な美浜の地域振興支援事業	266 万円	プレミアム商品券発行事業補助
土 木 費	住宅団地事業特別会計繰出金 (写真2)	1,748 万円	住宅団地事業特別会計への繰出金
	町道橋梁点検業務 (写真3)	1,206 万円	町道橋梁点検業務(28橋)
	町道川東 29 号線道路改良事業	475 万円	道路改良工事に伴う用地測量業務委託料用地費等
	県営急傾斜地崩壊対策事業負担金	700 万円	日向(橋坂山・長兵谷)地区 久々子(飯切山)地区
	道の駅整備事業	139 万円	道の駅整備構想策定業務委託料 他
教 育 費	放課後児童クラブ事業	398 万円	旧矢筈幼稚園・旧弥美幼稚園改修工事設計業務委託料
	スポーツ拠点づくり自立促進事業	560 万円	第11回全国中学校選抜ボート大会に係る大会実行委員会補助金

平成 26 年度 歳入歳出決算

◎平成 26 年度

一般会計歳入歳出決算の概要

平成 26 年度一般会計歳入決算額は、76 億 9,088 万円となりました。町税等の自主財源は全体の半分以下となりました。

また歳出決算額は 73 億 2,587 万円となり、歳入歳出とも前年度より減額決算となりました。

(詳細額は表の通りです。)

◎歳出の状況

(単位:万円、%)

款	平成 25 年度	平成 26 年度	比較増減	増減率	構成比
議 会 費	10,429	10,103	△ 326	△ 3.1	1.4
総 務 費	231,331	124,677	△ 106,654	△ 46.1	17.0
民 生 費	180,613	151,230	△ 29,383	△ 16.3	20.7
衛 生 費	119,963	119,772	△ 191	△ 0.2	16.3
労 働 費	3,760	3,778	18	0.5	0.5
農林水産業費	67,419	54,647	△ 12,772	△ 18.9	7.5
商 工 費	21,120	18,241	△ 2,879	△ 13.6	2.5
土 木 費	40,391	72,523	32,132	79.6	9.9
消 防 費	27,299	30,954	3,655	13.4	4.2
教 育 費	119,597	100,237	△ 19,360	△ 16.2	13.7
公 債 費	40,431	36,859	△ 3,572	△ 8.8	5.0
災 害 復 旧 費	16,509	9,566	△ 6,943	△ 42.1	1.3
歳 出 合 計	878,862	732,587	△ 146,275	△ 16.6	100

◎歳入の状況

(単位:万円、%)

款	平成 25 年度	平成 26 年度	比較増減	増減率	構成比
町 税	253,766	254,827	1,061	0.4	33.1
地方譲与税	5,444	5,180	△ 264	△ 4.8	0.7
利子割交付金	348	328	△ 20	△ 5.7	0.0
配当割交付金	570	1,082	512	89.8	0.1
株式等譲渡所得割交付金	899	622	△ 277	△ 30.8	0.1
地方消費税交付金	10,354	12,537	2,183	21.1	1.6
自動車取得税交付金	1,654	712	△ 942	△ 57.0	0.1
地方特例交付金	246	227	△ 19	△ 7.7	0.0
地方交付税	102,698	93,864	△ 8,834	△ 8.6	12.2
交通安全対策特別交付金	130	114	△ 16	△ 12.3	0.0
分担金及び負担金	10,881	13,562	2,681	24.6	1.8
使用料及び手数料	8,212	8,448	236	2.9	1.1
国庫支出金	172,545	158,234	△ 14,311	△ 8.3	20.6
県支出金	219,863	75,412	△ 144,451	△ 65.7	9.8
財産収入	1,593	2,919	1,326	83.2	0.4
寄附金	121	114	△ 7	△ 5.8	0.0
繰越金	26,872	43,612	16,740	62.3	5.7
諸収入	27,020	23,316	△ 3,704	△ 13.7	3.0
町 債	69,284	51,078	△ 18,206	△ 26.3	6.7
繰入金	9,972	22,900	12,928	129.6	3.0
歳 入 合 計	922,472	769,088	△ 153,384	△ 16.6	100

平成 26 年度 特別会計別決算状況

会 計 名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
診療所事業特別会計	35,397 万円	35,379 万円	18 万円
国民健康保険事業特別会計	128,558 万円	123,080 万円	5,478 万円
後期高齢者医療事業特別会計	11,040 万円	11,029 万円	11 万円
介護保険事業特別会計 (介護保険事業勘定)	108,091 万円	106,912 万円	1,179 万円
介護保険事業特別会計 (介護サービス事業勘定)	534 万円	534 万円	0 万円
産業団地事業特別会計	2,956 万円	2,956 万円	0 万円
住宅団地事業特別会計	2,132 万円	2,132 万円	0 万円
簡易水道事業特別会計	42,696 万円	41,779 万円	917 万円
集落排水処理事業特別会計	16,005 万円	15,989 万円	16 万円
公共下水道事業特別会計	49,581 万円	49,564 万円	17 万円
合 計	396,990 万円	389,354 万円	7,636 万円

各委員会の報告

予算決算
常任委員会

付託案件17件

●議案第62号 平成26年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について

問 地方消費税交付金で2091万9千円とあるがこれは消費税3%の増税分か、またこれほどのよくなものか。

答 平成26年4月に3%増税したもので、県から消費税分として交付された金額のうち社会保障財源分で、社会福祉、社会保険、保険衛生の3つに分けたものである。

問 コミュニティ助成事業について、遊具の購入は町が選定して、町が対象区に設置しているのか、また安全対策はどうなっているのか。

答 遊具に関して、事業の対象が区であるため、町は費用に対する助成を行い、安全対策は区でやっってもらう事になる。

問 住宅改修費助成事業は良い制度だと思いが、いつごろまで継続するのか。

答 この事業は平成23年度から27年度まで進めてきた。今まで3448万円を補助し182件を地元業者29社で展開してきたものである。今後は補助事業も含めて検証

し方策を探したい。

●議案第63号 平成26年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第64号 平成26年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第65号 平成26年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第66号 平成26年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について



東部診療所

●議案第67号 平成26年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第68号 平成26年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第69号 平成26年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第70号 平成26年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第71号 平成26年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について

●議案第72号 平成26年度美浜町上水道事業会計歳入歳出決算の認定について

●議案第73号 平成27年度美浜町一般会計補正予算(第2号)

問 ふるさと創生プロジェクト事業に計画策定業務委託料とあるが、事業内容は業者に委託するのか。

答 計画は地元住民が中心となつて策定委員会をつくり、委託業者には取りまとめを依頼する。

問 道の駅整備事業で多機能型を目標しているとのことだが、構想の進捗状況を教えてほしい。

答 今後の地方創生の拠点となるように、検討委員会を立ち上げ多機能型の複合施設を目指して取



美浜町上水道施設

り組んでいきたい。場所は白紙の状態これから構想を策定して進めていく。

●議案第74号 平成27年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

●議案第75号 平成27年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

●議案第76号 平成27年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

●議案第77号 平成27年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算(第2号)

●議案第78号 平成27年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算(第2号)

以上17議案を審査し、11議案を認定し、6議案を承認しました。

(崎元記)

総務文教
常任委員会

付託案件2件
申請願11件
陳情11件

●美浜町個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について

問

マイナンバー制度はこれまでの個人情報扱いとどう違うのか。個人にナンバーが与えられ、マイナンバー法により、特定個人情報により明確に取り扱いを行う。

答

●美浜町手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問

全町民に配布される通知カードと個人カードを申請する場合は、両方のカードを持つ事になるのか。

答

個人カードを申請し交付された方は通知カードと交換となる。以上の審査を終了し、2議案を承認しました。

●陳情第1号「地方財政の充実・強化を求める意見書採択」

については一部採択に、

●請願第1号「安全保証関連法案」の徹底審議の意見書提出を求める請願

については不採択に決しました。

(辻井記)

産業厚生
常任委員会

付託案件2件

優良な企業誘致を希望する

9月定例会の産業厚生常任委員会には2件の議案が付託され、慎重審議の結果、可決承認いたしました。

●美浜町企業誘致条例の一部を改正する条例の制定

予定されている若狭美浜インター

産業団地と松原産業団地の企業誘致を促進する為、企業立地助成金の引き上げ、雇用促進奨励金の新設、助成対象事業の区分変更・新規追加、撤退時の補助金返還命令、複数回助成の対象明記等を規定するものです。委員からは、誘致条件が緩和されても優良な企業誘致を推進するように指摘をしました。

●土地改良事業にかかる計画の概要

若狭町と隣接する気山地係の改良事業で提案どおり承認しました。

(浜野記)

全員協議会

平成27年8月6日(1件)

美浜発電所3号機に係る新規制基準適合性審査の状況及び特別点検の実施状況について

美浜3号機の再稼働に向けた基準地震動の審査経緯と40年超えの運転に関する特別点検内容について美浜発電所長より説明があり基準地震動や審査時期等に対し多くの質問や意見が出されました。

平成27年8月21日(4件)

(1)若狭美浜インター産業団地の進捗状況について

山土地係における産業団地用地は第一工区から第三工区に分け整備して行く計画で、8月31日に入札されました。また、企業誘致条例の一部改正として立地助成金の限度額引き上げや雇用促進奨励金制度の見直し等も検討中です。

(2)山上住宅団地の進捗状況について

山土地係における住宅団地用

地(58区画の宅地分譲地の整備)は第一工区から第三工区に分けて整備して行く計画で、8月31日に入札されました。また、住宅団地取得優遇策等についても検討中です。

(3)美浜町総合運動公園野球場グラウンド改修工事について

この施設は、平成2年に供用開始をしています。グラウンドや周辺設備の劣化が著しいことから平成30年に開催される福井国体の軟式野球会場にも予定されているため、これを機に施設の改修を行うものです。

(4)エネルギー環境教育体験施設(仮称)整備工事(請負契約)について

旧丹生小学校を中心に改修・増築しエネルギー環境教育に特化した「体験型教育施設」を整備するものです。建設工事、機械設備工事、展示工事に分けて8月31日に入札が行われました。

平成27年9月15日(2件)

(1)平成26年度教育委員会の自己評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、

美浜町教育委員会が行なった平成26年度の教育行政事務の自己点検・評価をまとめ議会に提出すると共に公表するものです。

(2)嶺南地域の広域連携について

将来にわたって持続的に発展することができると嶺南地域の広域連携を進めることが望ましいとするもので、その説明を聞きました。

(梅津記)

現地視察

今回の現地視察は、国道27号線歩道整備工事、レイクヒルズ美方病院、総合運動公園野球場、北公民館の順で視察しました。

国道27号線歩道整備工事

河原市（郷市間（1.6km））を安全で安心な歩行空間を確保するものとしています。全体事業費は23億円で、①河原市地区（海側）②河原市地区（山側）③郷市地区（山側・遺跡確認）④郷市地区（海側）の順で工事を実施する予定となっています。



レイクヒルズ美方病院リハビリ施設

レイクヒルズ美方病院

介護保険に係るリハビリを本年4月から実施している事から、その状況を視察しました。様々な機器も整っており、理学療法士・作業療法士が指導にあたります。

総合運動公園野球場

福井国体の軟式野球の会場になるため、6月補正予算でもグラウンド改修工事費1億5869万1000円が計上されています。そのため施設の老朽化の状態（施設内



総合運動公園野球場

部の雨漏り、バックネットの継ぎ、グラウンド・芝の状態などを確認しました。今回の改修は、グラウンド内のプレーに関係するもの（外野天然芝、ウォーニングゾーン、ラバーフェンス、マウンド成形、内野舗装工など）が中心となっています。

北公民館

地区公民館再生事業のモデル地区として開設されています。旧北小学校は、小学校再編に伴い、現在は、北地区の公民館となっております。

(河本記)

第4回臨時議会

平成27年7月28日

●議案第60号 美浜町多目的屋内運動場建築工事請負契約について

契約の方法 制限付き一般競争入札

契約金額 4億6656万円

契約の相手方 (株)谷口工務店、

(株)武田組企業共同体

工期 平成28年3月25日

●議案第61号 (仮称)美浜町歴史文化館改修工事(建築・電気設備工事)請負契約について

契約の方法 制限付き一般競争入札

契約金額 1億929万6千円

契約の相手方 (株)谷口工務店、

(株)吉田組企業共同体

工期 平成28年3月25日

2議案とも承認しました。

(松田記)



竹中 良廣 議員

原子力政策の今後について

国は廃炉に伴う新たな財政支援を検討中。

経済産業省は来年の概算要求で廃炉となる原子力発電所を抱える立地自治体に対し、新たな財政支援(総額45億円)が明らかになった。これについて町長の考えを問う。

問 立地市町のエネルギー構造転換に向けた支援、原子力発電だけに頼らない仕組みを考えるとの内容に対しどのように考えるのか。

町長 多くを原子力に依存する立地市町村の構造を転換するための支援と考えており、原子力以外の発電が美浜町に可能かどうか、今一生懸命勉強をしているが、具体的な構想は出ていない。もしそういうものがあれば、早々に活動、要望等を行い、多様な電源地域としてやっていきたい。

問 原子力発電所内にある使用済み核燃料貯蔵プールの貯蔵能力を拡大する場合に自治体が容認しやすい交付金の見直しをする。また、使用済み燃料の原子力発電所敷地内での冷却期間が1年間から12年間に大幅に延長するという方針も出されている。長期保管が懸念されるが。

町長 使用済み燃料を当面の間、安全に保管するためにその能力を拡大す

ることに奨励金を与えていこうというもので、発電所内での保管に対する新たな制度になると思っている。ただ、そういう制度が長期保管につながるような制度にしてはならないと考えている。

問 企業誘致に関して、電気料金の優遇措置があるが、今年度から20%減額されている。これによる、企業誘致への影響やさらなる支援策を考えているのか。

特命幹 企業誘致に大きな影響を与えようと思われることから、企業誘致条例を改正し最大1億円から2億円の補助制度の引き上げ、また、雇用促進奨励金の新設をしたいと考え、この議会で提案をしている。

近隣自治体と共同で電算システムを活用しては

必要性を感じている嶺南6市町の広域で検討する。

問 町の業務において、法改正や制度改正などにより毎年のように電算システムの変更が行われ、これに多くの予算が使われている。クラウド型の電算システムに移行して周辺自治体と共同で利用、管理運営を行ってはどうか。かなりの経費削減になると考えるか。

町長 電子システムを周辺自治体との共同使用するクラウド化は財政的、安全管理面、人的削減に大きなメリットがあると考えており、今、広域連合で出来ないか検討を始めている。また、この内容も含めいくつかの事業も嶺南6市町で広域連携をして運営できるように準備を進めている。



浜野 健治 議員

国体誘致を機に、町の活性化を願う

2018年福井しあわせ元気国体の美浜町の役割を問う。

町長 競技・運営の面で多くの町民の参加を考えている。担当する競技はボート、軟式野球で国体後の障害者スポーツ大会のゲートボール。多くの交流人口に対し、美浜の文化、食等のアピールをしてぬくもりのあるおもてなしをしたい。美浜のボート選手の頑張りで、福井の天皇・皇后杯の得点に寄与していきたい。

企画幹 施設としてボートコース、艇庫の整備を進めている。野球場は27・28年度でグラウンド、観覧席の整備を計画しており、ゲートボールについては多目的屋内運動場を27年度で整備する。

環境整備として運動公園近辺、アクセス道路への花の植栽、案内看板の整備、27号線の拡幅を進めていく。おもてなしについては実行委員会を立ち上げ進める予定です。

教育長 選手の育成は、福井県では2018年競技力向上対策本部

を設置し、現在304人の育成、美浜中学から7人が参加している。それ以外でもボート協会ではボート選手を、野球でも美方ボーイズ等、競技の底辺拡大に努力している。

人口減少対策に具体的目標を掲げよ

産業団地の規模も決定、住宅団地の戸数も決まった。人口減少対策に寄与する目標値を問う。

特命幹 27年度決定している野菜工場は約20名、原子力レスキューも約20名と予測しているが、若狭美浜インター産業団地の企業は決まらなないと予測できない。山上住宅団地は計画戸数58戸、平均家族3.5人として約200人の増加を予測している。

美浜でロボット技術者の育成を

問 今後原子力レスキュー、廃炉作業、介護施設等でロボットの技能所有者が優遇される時代が到来する。技術者の卵は美浜で育てている。将来に向かって支援すべきと考えが見解を問う。

町長 美浜町独自でやるのは無理と思うが、企業等の支援を得て、側面的に支えたい。場所の提供は可能と考える。

質問、返答については質問者の文責で掲載しております。



梅津 隆久 議員

町内小中学校の「はあとふる体験」を学校教育としての導入について

問 県内の小学校5年生は毎年課外研修として学校教育の中で体験学習させている。町外・県外の生徒を受け入れ体験して頂くことは本事業として大切ではあるが、まずは町内の生徒に美浜の自然体験と民泊体験させて行くことで、自然豊かな郷土を愛する心を養わない、また人と人との交流が生まれ人間関係の構築能力の育成に繋がる事、また将来の若者定住にも繋がって行くものと確信します。したがって我が町の教育の一環として町内小学校3校5・6年生及び中学校2年生を対象に毎年体験教育を継続して行ける様、教育指導要綱等への位置付けと体験料の補助システムの構築が出来ないか。

町長 将来を担う子供達には自然体験学習は非常に大切だと思つてい。美浜町の現況は「はあとふる体験」とは別にそれぞれの学校学習の中で地域の応援者を中心に一次産業を体験して貰つている。今後、町内の子供達には補助を付けて活性化して行く事も必要と考える。現状まったく学校教育としてやっていない訳ではない。

学校教育課長 校外学習として総合学習の中で海、山、農業、林業等小学校5年生を対象に学校それぞれが直

接関係団体をお願いしている。はあとふる体験としてはカウントしていない。また、文部科学省の補助で土曜日授業として体験もさせている。

校外学習は先生方からも町を知る重要な教育と認識して頂いている。今後共、学校側の声をよく聞いて充実を図ってまいりたい。特色ある美浜町の教育としてエネルギー環境教育とふるさと体験学習として教育大綱、第五次美浜町総合振興計画に盛り込んで行きたいと考える。

商工観光課長 町内の生徒への体験料金については、はあとふる体験美浜町内行事として25%割引とさせて頂いている。今後共、エネルギー環境教育とタイアップして進めて行きたい。

問 学校単位で進めているとの事であるが教育大綱に取入れ標準化を図ると共に父兄の負担軽減のためにも体験料の無料化できないのか。

商工観光課長 推進協議会では体験料として材料等の代金として3/4補助しているというが聞いていたが無料化は無理と考える。

問 学校教育の中で体験料金の予算措置が考えられないのか。

学校教育課長 はあとふる体験も取り入れて行きたいが今年度から希望校のみ参加させて頂いている。体験料金は高額となるので全額負担について今後の課題として検討して行きたい。

意見 体験料金の無料化は難しいと思うが父兄の負担を出来るだけ軽減する方向で検討願いたい。

また、今後の、はあとふる体験事業の見直し改善の必要もあるかと思うがエネルギー環境教育と連携し充実した美浜町の学校教育をお願いしたい。



河本 猛 議員

原子力複合災害や医療体制について

問 原子力規制委員会は、被曝した患者の治療を行う原子力災害拠点病院の指定を義務づけるなど、放射性物質が広範囲に拡散する事態への対応を強化した。

現時点で緊急事態における被曝治療の体制は、避難ルート上や避難先で確保できるのか。また、おおい町、大野市、それぞれの病院に行けばよいのか、病院名を示していただきたい。

企画政策課長 福井県原子力防災計画において、緊急被曝医療体制については、避難ルート上に設置するスクリーニング・除染場所に緊急医療班を配置し、国の協力を得ながらスクリーニングを行うとしている。その結果に応じて簡易除染を行っても汚染が残るとい

方は指定医療機関で除染・医療処置を行うことになっており、避難先での医療は一般救護所という形になる。被曝医療機関については、初期被曝医療支援機関、二次被曝医療機関、三次被曝医療機関等、診療機能により区分され、スクリーニングの結果、被曝医療機関に

搬送が必要となった場合は、被曝の程度に応じて県で指定する30キロ圏外の病院に搬送されることになる。

初期被曝医療の支援機関は、若狭高浜病院、杉田玄白記念公立小浜病院、坂井市立三国病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、福井勝山総合病院、公立丹南病院、国立病院機構あわら病院。

二次被曝医療機関は、福井県立病院緊急時医療対策施設、それから福井大学医学部附属病院。三次被曝医療機関は、広島大学、放射線医学総合研究所になる。

問 質問、現時点で町には被曝医療を受けられる病院施設はないのか。

企画政策課長 町内にはない。

意見 嶺南地方は世界で最も原発が集積する。どうして高線量被曝患者に対する高度被曝医療センターがこの福井県嶺南地方にないのか。原発を抱える立地自治体としては医療設備や診療体制が脆弱過ぎる。福井県や嶺南の市町は一体何をやってきたのか疑問に思っている。

原子力複合災害が想定される町には、質の高い診断や治療が行える医療体制の強化・整備を早急に行う必要がある。

★その他に「美浜原発の基準地震動や対策について」質問しています。

議会運営委員会 視察報告

【長野県飯綱町(7月14・15日)】

やり方で変わる

町議会の先進地を探る

今回は町民人口が美浜と近似し、デマンド交通システムを採用し、町立病院を経営する先進地、長野県飯綱町を研修しました。

議会運営では町民に信頼される議会、町民が求める議会像を目指し、議員間の学習、討議を重ねて結果として町民への説明責任を果たし、住民参加で議会との距離を縮め、活発な自由討議で行政運営を円滑に進めることが出来ている方法を「議会基本条例」「集落振興支援基本条例」「政策サポーター制度」まとめて全国の町村の注目を得ていて参考にしていききたいと思います。

次に飯綱町で採用しているデマンド交通システムはタクシー会社と提携して定期バスに加え、デマンド交通システムを利用できる弱者を認定し、予約の有った時にタクシーがドアツードアで目的地までの便を図るシステムで

あった。目的としては通院が多いとのことでした。

また町立病院「飯綱町立病院」は診断治療、リハビリ、人間ドック、透析、更には在宅医療の提供まで幅広くサービスを提供できており、背景に必要な医療に対する医師の確保が重要な要素であることが強調されていました。議会改革、デマンド交通システム、町立病院経営とも美浜町議会にとって参考になる点が多い研修でした。

(浜野記)



視察の様子 (飯綱町)

【広報特別委員会研修】

親しみのある紙面づくりを

7月3日に福井県自治会館において今年の議会広報研修会が開催され、委員5名が参加しました。講師は広報専門アナリストの吉村潔氏が務められ、全国で発行されている特徴のある紙面をもとに、最近の傾向と紙面の見せ方のレクチャーを受けました。みはま町議会だよりも講評を受け、全体的に良い評価を得ました。今後もこの研修の成果を活かし、より親しみのある紙面作りを目指していきます。

(辻井記)

【福井県町村議会

委員長・副委員長研修会】

横田優講師から学ぶ

8月7日に今年の町村議会委員長・副委員長研修会が県自治会館で行われ、全国町村議会議長会議事調査部参与の横田優師から「本議会及び委員会運営

の基本」について研修を受けました。議会と委員会の明確化、委員長と委員の権利と義務、さらに状況によつての任務と役割等を項目別に学びました。美浜町議会も近年、委員会や特別委員会の数を増やし、行政へ政策の提言を行っています。

(兵庫記)

【福井県町議会議員研修会】

地方議会制度を学ぶ

8月28日、町議会議員研修会が福井県自治会館で行われました。

今村都南雄中央大学名誉教授から「町議会を取り巻く諸課題」と題し、第1次分権改革から20年、地方議会制度の概要と教訓、改めて問われる地方議会・議員のあり方を学びました。

また、これからの課題として「まち・ひと・しごと創生」への対応まで大きく4つの項目でお話され、議会は、議員はどうあるべきか、また、住民との関係についても提言をいただきました。

(野瀬記)

議会と語ろう会

【1班】

円滑な区運営と雇用増

【栄区 7月29日 参加者6名】

区費などの徴収・納付、配布物、区の運営などに関して、さまざまな悩みを聞かせていただきました。また、文化財の展示方法や出土品の説明・価値についても意見が出され、良い勉強になりました。そのほかにも、木の枝の伐採、水路の補修、原子力防災についてのご指摘や要望があり、意見交流の中で議会と行政の違いや議会の役割についてお話しすることができました。



坂尻区

【坂尻区 7月30日 参加者6名】
産業団地、住宅団地についての質疑

や「産業団地も住宅団地も10年遅いと思う」というご指摘もありました。私たちもそのような指摘を多く受けますが、町の雇用を増やし、人口を維持していく努力をしなければならぬと考えています。また、海岸漂着物撤去処分事業、福祉支援センターあいばる、デマンドバス、国民健康保険税などの税金やゴミ袋の値段が高いなどの質疑・意見が出されました。（河本記）

【2班】

住民生活環境の改善を切望

【南市区 7月31日 参加者29名】

区内で多くの犬を飼われている民家があり、鳴き声や悪臭に困っている。また健康不安も感じていると言う事で改善要望がありました。2班では直ちに役場住民環境課、二州健康福祉センターに出向き現状と対策の状況把握をしました。関係機関では一挙に改善への進展は難しいが手順を踏み進めて行きたいとの事でした。

空き家対策調査で区内には30〜40軒近くあるが壊せば金もかかるし固定資産税も高くなる。放置すれば危険も生じるので解体に補助金制度を設けたらどうかなどのご意見も頂きました。

温泉用地の活用・

野菜工場誘致への提言

【大藪区 8月8日 参加者14名】

国道27号線両サイド歩道設置の必要性や温泉用地の有効活用について町の

施策、対応についての指摘やご意見を頂きました。

また、野菜工場については(株)NOU MANNが経営すると聞いていますが一人でも多くの地元雇用への要望がありました。

一次産業の維持問題として近年、耕作放棄者や地元を離れる人が増え区内での農業に対する事業負担金確保が難しくなって来ている。将来、負担金増にならない様、補助金確保に努力して頂きたい旨の要望がありました。

また、今問題となっている子供のいじめや不登校問題について発生させないための美浜町での方策等についても提言頂きました。（梅津記）



大藪区

【3班】

公営住宅事情を良く見て欲しい

【小倉区 7月22日 参加者16名】

小倉区では住宅が建設後30年を経過し、

施設の老朽化が進み、それと共に住民の高齢化が進んでいることでの意見が多数出ました。議会としては、公営住宅に対する「美浜町公営住宅等町寿命化計画」に要望を載せること、消防器具ボックスの器具更新の支援等が必要で有る事を確認しました。又、ゴミ袋が隣の市より高いことの指摘も受けました。

耳川の浚渫は待ったなしで

【中寺区 8月8日 参加者12名】

中寺区からは町に、多目的屋内運動場、福祉施設「あいばる」等の施設が次々に建設されることに対し、議会が資金だけでなく、利用効率が十分であるのか審査をしているかとの指摘がありました。

もう一点は耳川の氾濫の危機を心配されており。町、県土木に十分ご意見を伝えることを約束しました。（浜野記）



中寺区

消防操法大会

【敦賀美方消防組合議会】

議会チーム、感動の特別賞

恒例の美浜地区自衛消防隊操法大会が8月23日美浜消防署消防訓練場で開催されました。今回は第20回記念大会として、地域の部8チーム、職域の部11チーム、女子の部9チームの合計28チームの参加がありました。そんな中、職域の部に出場した議会チームはベテランらしい落ち着いた行動で、スムーズにホースを延長、火点を的確に倒して11チーム中4位の成績で堂々の「特別賞」を獲得しました。今後も町民の人命と財産を守るため、自衛消防隊を激励、支援してまいります。
(浜野記)



美浜地区自衛消防隊操法大会

全国市町村交流レガッタ津幡大会 9月26-27日

昨年は見事に議員の部にて優勝を果たしましたが、今年はメンバーの変更や体調不良者、更にハプニング等が続出で、水晶浜クルーは敗者復活戦まで。三方五湖クルーは準決勝で4位でした。
昨年の成績からしてみると、今年は見事に惨敗でした。
(山口記)



全国市町村交流レガッタ津幡大会（優勝旗返還）



津幡レガッタ

津幡レガッタ 8月23日

5年前からこの大会には参加しており、4連覇しています。今年は、消防操法大会とも重なりメンバーを新たにし参加しました。5連覇を目指して参戦した訳ではありませんが、柳の下に5匹目のどじょうはおらず準優勝という結果でした。
(山口記)



編集後記

松下幸之助氏著書『道を開く』の中の一節に、「政治という仕事」について書かれています。要約するとどんな仕事でも、みんなが共存してゆくためのもので、一つの仕事は他の仕事につながり、それがつながって世の中が動いている。中でも政治という仕事は、一億国民に、直接つながりを持っていて、その良否は、たちまち国民の幸不幸を左右する。政治家が尊敬を受けないような国は繁栄しないといった内容です。私たちも地方政治の一端を担う者として、今一度初心に帰り、皆様からの負託に応えられる議会を目指し頑張りたいと思います。
(松田記)

美浜町議会 広報特別委員会

- 【委員長】 辻井 雅之
- 【副委員長】 川畑 忠之
- 【委員】 梅津 隆久
- 崎元 良栄
- 藤本 悟
- 松田つめ子
- 飯田 豊